

大阪警察病院泌尿器科における22年間の手術統計

大阪警察病院泌尿器科 (部長: 矢野久雄)

伊原 義博, 黒田 秀也, 中森 繁*

岸本 知己, 矢野 久雄

A STATISTICAL OBSERVATION OF THE OPERATIONS
AT THE DEPARTMENT OF UROLOGY,
OSAKA POLICE HOSPITALYoshihiro Ihara, Hideya Kuroda, Shigeru Nakamori,
Tomomi Kishimoto and Hisao Yano*From the Department of Urology, Osaka Police Hospital*

A statistical observation was made on operations at our department from April, 1967 to March, 1989. The total number of operations was 4469. Operation methods and operation numbers about each organ are shown and discussed briefly.

(Acta Urol. Jpn. 36: 173-175, 1990)

Key word: Statistics of operation

緒 言

近年, 体外衝撃波結石破砕装置の開発と, 経皮的または経尿管的操作の進歩により, 上部尿路結石に対する手術療法は大きく変貌している。当科においても, 遅ればせながら順次, 新技術を取り入れてゆく予定であるがこの際, 今後の比較資料として, 現在までの手術統計をまとめてみた。

1967年4月, 大阪警察病院泌尿器科開設以来, 1978年12月末までの約12年間の手術統計¹⁾, 1982年3月末までの15年間の手術統計²⁾はすでに報告している。今回, さらに1989年3月末までの22年間の手術統計を検討し, これによって病床数580床の標準的総合病院である当院の泌尿器科における診療状況の概要を報告する。全手術件数は4,469件であり, 各臓器別に手術術式とその症例数を示し, 対象となった疾患についても若干の検討を加える。

1. 腎に対する手術 (Table 1)

487例であり, 腎摘除術167例(34%), 腎盂切石術142例(29%)で, 両者が過半数を占めている。腎摘除術の対象となった疾患は Table 2 に示すが, 腎細胞癌49例(29%), 水腎症43例(26%), 腎結核42例

(25%)となっている。腎結石に対する手術では, おもに腎実質に侵襲を加えない腎盂切石術が施行され, もっぱら Gil-Vernet の背面切開による到達法³⁾が採用されている。すなわち, 腎盂切石術142例中95例(67%)に背面垂直切開が施行されている。腎結石に対する開腹手術はほとんど施行されない時代となったが, 背面垂直切開による腎盂切石術は侵襲も少なく, 症例によっては, 今後も施行する価値のある術式と考えている。腎盂形成術は24例であるが, 全例 Hynes-Anderson による dismembered pyeloplasty である。

2. 尿管に対する手術 (Table 3)

尿管切石術が355例(62%)と最も多く, ついで尿管皮膚瘻造設術が74例(13%), 尿管膀胱新吻合術が64例(11%)に施行されている。尿管膀胱新吻合術の対象疾患は, 膀胱尿管逆流症と尿管腔瘻が多く, 前者ではおもに Politano-Leadbetter 法が施行され, 後者では尿管長の不足する場合には, bladder psoas hitch による尿管膀胱新吻合術⁴⁾が施行されている (Table 4)。

3. 膀胱に対する手術 (Table 5)

表在性再発性の膀胱腫瘍に対して, くり返し経尿道的腫瘍切除術または経尿道的腫瘍焼灼術が施行された症例を含むので, その手術回数を示してある。当科では, 膀胱腫瘍に対しては, 多発性の再発を繰り返す場

*現: 大阪府立病院泌尿器科

Table 1. Kidney

Nephrectomy	167
Pyelolithotomy	142
Posterior vertical lumbotomy	95
Lumbar oblique incision	47
Nephrostomy	34
Total nephro-ureterectomy	31
Partial nephrectomy	31
Stones	18
A-V malformation	3
Tuberculosis	1
Angiomyolipoma	1
Renal cell carcinoma	1
Multi-ocular cyst	1
Pyeloplasty	24
Removal of renal cyst	23
Nephrolithotomy	20
Nephro-pyelolithotomy	7
Nephropexy	4
Others	10
Total	487

Table 2. Nephrectomy

Renal cell carcinoma	49
Hydronephrosis	43
Tuberculosis	42
Pyonephrosis	12
Hypoplastic kidney	4
Trauma	3
Reno-vascular hypertension	3
Others	11
Total	167

Table 3. Ureter

Ureterolithotomy	355
Ureterocutaneostomy	74
Ureterocytoneostomy	64
Ileal conduit	42
Uretero-ureterostomy	6
Ureteroileocystostomy	5
Ureterosigmoidostomy	3
Others	27
Total	576

Table 4. Ureterocutaneostomy

VUR	24
Politano-Leadbetter	19
Paquin	5
Uretero-vaginal fistula	22
Ureteral stenosis	10
Megaloureter	8
Total	64

Table 5. Bladder

TUR-bt	704
TUR-bn	128
Cystolitholapaxy	84
Total cystectomy	65
TU-fulguration	46
Partial cystectomy	27
Cystolithotomy	18
Closure of vesico-vaginal fistula	13
Cystostomy	9
Diverticulectomy	5
TUR-ureterocele wall	3
Others	24
Total	1,126

Table 6. Prostate

TUR-P	610
BPH	34
Prostatic cancer	65
Prostatic stones	8
Prostatitis	2
Neurogenic bladder	1
Retropubic prostatectomy	95
Suprapubic prostatectomy	5
Total prostatectomy	5
Vesicocapsular prostatectomy	2
Subtotal prostatectomy	2
Incision of prostatic abscess	2
Others	4
Total	725

合でもその腫瘍が表在性であれば、定期的に膀胱鏡検査、尿細胞診検査などによって厳重に監視しつつ、経尿道の切除を繰り返し、できる限り膀胱を保存するという方針をとっている。器質的または機能的膀胱頸部通過障害の128例に対して、経尿道の膀胱頸部切除術(TUR-bn)が施行されているが、この適応決定には十分な排尿機能検査を施行し、いわゆる unstable bladder を除外する必要があると考えている。膀胱結石については、膀胱碎石術84例に対して、膀胱切石術18例と開腹術が少ないのは、大きな結石でも Guyon の碎石器を用いて碎石術が施行されているためである。

4. 前立腺に対する手術 (Table 6)

725例であり、前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺切除術(TUR-P)が534例(74%)を占めている。当科での前立腺肥大症に対するTUR-Pについては、矢野ら⁵⁾が、その実際、臨床症例と成績を報告しており、最近の7年間では230例を施行し、この間の開腹手術症例は8例であり、ほとんど(97%)がTUR-P

Table 7. Penis, scrotum and scrotal contents

Vasectomy	353
Phimotomy (circumcision)	235
Orchiectomy	173
Simple	125
High (Tumor)	48
Orchidopexy	121
Hydrocelectomy	73
Fulguration of condyloma	57
Epididymectomy	45
Suture of tunica albuginea (penis fracture)	7
Removal of appendix testis	5
Amputatio penis	5
Others	50
Total	1,124

Table 8. Urethra

Internal urethrotomy	57
Resection of urethral caruncle	37
Meatotomy	27
Resection of prolapsus urethrae	14
Urethroplasty	5
Chordectomy	3
Diverticulectomy	3
Others	33
Total	192

によって治療されている。

前立腺癌は進行癌が多く, その下部尿路通過障害を除去する目的で TUR-P が施行され (65例), 前立腺全摘除術の適応となったものは5例に過ぎない。

5. 陰茎, 陰囊, 陰囊内容に対する手術 (Table 7)

外来手術である男子不妊手術353例 (31%), 包皮環状切除術 235 例 (21%) が約半数を占めている。そのほか, 精巣固定術 121 例, 精巣腫瘍に対する高位精巣

Table 9. Others

Adrenalectomy	10
Removal of retroperitoneal tumor	6
Parathyroidectomy	5
Retroperitoneal lymph node dissection	2
Others	49
Total	72

摘除術48例, 陰茎折症に対する血種除去と白膜縫合術7例が施行されている。

6. 尿道に対する手術 (Table 8)

尿道狭窄に対する内尿道切開術57例 (30%) であり尿道カルンケル切除術37例, 外尿道口切開術27例が続いている。

7 その他 (Table 9)

72例であり, 副腎摘除術10例, 後腹膜腫瘍摘除術6例および副甲状腺摘除術5例がある。

文 献

- 1) 中森 繁, 岸本知己, 池知俊典, 矢野久雄: 大阪警察病院における12年間の手術統計. 泌尿紀要 **26**: 59-61, 1980
- 2) 中森 繁, 伊原義博, 岸本知己, 矢野久雄: 大阪警察病院における15年間の手術統計. 大阪警察病院医誌 **6**: 171-173, 1982
- 3) 林 知厚, 中村隆幸, 矢野久雄: Posterior Lumbotomy による腎盂切石術 (Gil-Vernet) の経験. 泌尿紀要 **19**: 837-841, 1973
- 4) 矢野久雄, 林 知厚, 中村隆幸: 子宮頸癌手術後の下部尿管損傷に対する尿管新吻合術—膀胱腰筋固定法について—. 泌尿紀要 **18**: 563-567, 1972
- 5) 矢野久雄, 岸本知己, 中森 繁, 伊原義博: 前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺切除術. 泌尿紀要 **32**: 1594-1598, 1986

(Received on May 8, 1989)

(Accepted on May 12, 1989)